森林ふれあい情報

令和4年12月
第 60 号
林野庁中部森林管理局
木曽森林ふれあい推進センター
〒397-0001 長野県木曽郡木曽町福島5473-8
TEL：0264(22)2122
E-mail：kiso-fureai@maff.go.jp

秋に入り天候も秋雨前線による豪雨や台風の襲来もなく、近くを流れる木曽川の水位も安定していました。
令和３年の豪雨で被害を受けた木曽川左岸の崖屋づくりの家屋が取り壊され、護岸工事が始まりました。

山と緑の協力隊

10月22日（土）・23日（日）の２日間、長野県上松町小川入国有林の「ふれあいの森」において、（特定）地球緑化センター主催によるヒノキ人工林の除伐作業が行われました。
この活動は平成８年から開始し、ボランティアにより国有林の森林整備を行うもので、今回は他県等から男性８名、女性３名の参加があり、当センターが初日の技術指導を行いました。

実演伐倒の様子

フェリングレバーを使った掛かり木の処理

準備体操をする参加者

参加者は、初めにヒノキ（直径約16cm）の実演伐倒を見学してから、２班に分かれ作業に入りました。
参加者の中には今回初めての方もみえましたが、この活動に何回も参加しているリピータから伐倒方向や掛かり木になった後の処理方法を教わりながら、楽しく作業を行いました。
２日目は木曽森林管理署職員の指導のもと、１日目の体験を活かしながら慣れた様子で作業を行い、初めて参加した男性もフェリングレバーを使用し汗をかきながら掛かり木処理を行っていました。
２日間の作業は怪我もなく終わり、参加者からは「森林の手入れに協力することができて良かった。」、「この活動にまた参加したい。」との感想が聞かれ、日頃訪れることのない木曽地域での森林整備が貴重な体験となったようでした。

第12回中部森林学会大会

11月19日（土）に三重県津市の三重大学において中部森林学会の大会が開催され、当センターで研究発表を行いました。

この発表は、森林総合研究所と協働で、長野県上松町にある木曽ヒノキの古い根株を「酸素同位体比分析」で調査し、古代の林分構造を推定するもので、昨年度の中部森林管理局技術交流発表会で行った発表内容に今年度の新たな解析結果を追加したものです。

発表の様子

質問に回答する酒井研究員（後列左から２人目）

発表後、聴講者からは「比較となる標準酸素同位体比データの考え方について教えてほしい」と専門的な質問が出る等、発表内容に大変興味を持たれた様子でした。

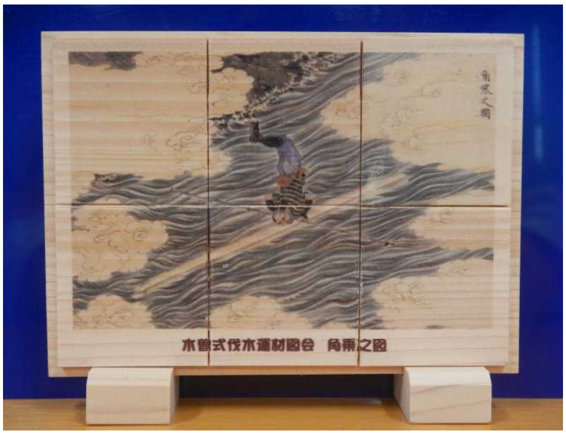
今回の大会では、林政、造林等の８分野で77題の研究発表が行われ、当センター職員も発表以外の時間は、業務に参考となる発表を聴講することができ、大変有意義なものとなりました。

赤沢自然休養林パズルラリー第８弾

「赤沢自然休養林トレッキングパズルラリー」の第８弾を10月から開始しました。

昨年の４月に第７弾を開始しましたが、新型コロナウイルスが落ち着き、来園者も以前の状態に戻ってきたこともあり、当初準備した木製パズルは７月に終了したため、早急に第８弾のパズルを300枚製作しました。この第８弾も好評で、11月の閉園までに200組近い方が全ポイントを達成しました。

令和５年は、４月下旬の開園に合わせ、第８弾のパズルラリーを再開する予定です。



木曽式伐木運材図　角乗之図

お知らせ

当センターは11月24日（木）に下記住所に移転しました。
新住所　397-0001　長野県木曽郡木曽町福島5473-8
℡　0264-22-2122